

尼崎市総合計画審議会資料
資料 第 3 号
平成 2 9 年 9 月 2 0 日

パブリックコメント等を受けての素案の反映点

尼崎市

パブリックコメント等を受けての素案の反映点

パブリックコメントにおける意見

意見の概要		素案	反映内容等
3	指標の目標値設定の考え方が統一されていない。		
	(P34・P35) 施策04【子ども・子育て支援】の指標1 「身近に子育ての悩みや不安を相談できる環境があると感じる市民の割合」	基準値 48.4% 目標値 100%	基準値 48.4% 目標値 54.4%
	(P50・P51) 施策12【生活安全】の指標1 交通安全、 治安等 の面で安心感を持っている市民の割合	基準値 53.8% 目標値 100%	基準値 53.8% 目標値 80.0%
	(P50・P51) 施策12【生活安全】の指標2 安全・安心・快適に自転車を利用できていると感じている市民の割合	基準値 40.7% 目標値 100%	基準値 40.7% 目標値 60.7%
4	施策15【環境保全・創造】の指標2「二酸化炭素の年間排出量」について、さらに削減していくという目標にするべき。		
	(P56・P57) 施策15【環境保全・創造】の指標2 市内における二酸化炭素の年間排出量	基準値 3,078千t (平成27年度速報値) 目標値 3,340千t (平成32年度)	市内における二酸化炭素の年間排出量 (うち、民生家庭+業務部門) 基準値 3,078千t (平成27年度速報値) 3,340千t (平成32年度) (1,132千t) (746千t)
10 ・ 13 ・ 14	施策03【学校教育】の文中「学校園」を幼稚園を含むことが分かる記載への変更		
	(P32・P33) 施策03【学校教育】 子どもの生きる力をはぐむために、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりの実現をめざす学校教育を展開するとともに、家庭、地域、 学校園 が密接な連携を保ちながら、地域社会全体で子どもを守り育て、子どもが安全かつ安心して学ぶことができる教育環境の充実したまちをめざします。	子どもの生きる力をはぐむために、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりの実現をめざす学校教育を展開するとともに、家庭、地域、 学校(幼稚園を含む) が密接な連携を保ちながら、地域社会全体で子どもを守り育て、子どもが安全かつ安心して学ぶことができる教育環境の充実したまちをめざします。	
		「 学校園 」 リード文を除く文中すべて	「 学校 」
54	アンケート結果の回答者の年代、性別がわからないので明確にするべき。		
			市民意識調査において、「マナーの良くないまち」と回答された方は25～34歳の方が一番多く、年代が上がるにつれ、その割合は低くなっていくという結果が出ています。 アンケート結果につきましては、分量が非常に多いことから計画本文には詳細までを記載することはできませんが、今後ホームページ等で公表してまいります。

総合計画審議会、市議会からいただいた意見

	本市特有とも言える「アスベスト」の問題について、後期計画に記載する必要があると思うかどうか。	
	(P46・P47) 施策10【健康支援】・3各主体が取り組んでいくこと・行政の取組	
	[展開方向2 - 2] 健康回復や療養のための支援 大気汚染による健康被害者の健康回復や、難病患者への療養支援、精神疾患にかかる支援を推進します。	[展開方向2 - 2] 健康回復や療養のための支援等 大気汚染による健康被害者の健康回復や、難病患者への療養支援、精神疾患にかかる支援を推進します。 <u>また、石綿ばく露の可能性のある方への健康管理等について取り組みます。</u>
	施策評価について、これまでの施策評価の総括のような記載が必要ではないか。	
	P14 (3) 施策評価の結果	尼崎市総合計画後期まちづくり基本計画(案) P14のとおり

平成29年度施策評価結果(平成28年度決算)を踏まえた修正

	たばこ対策について、健康以外の観点もあわせて記載する。	
	(P64) 主要取組項目・市民の健康と就労を支援する・市民の健康寿命の延伸	
	加えて、たばこは健康に悪影響を及ぼし、さまざまな疾患の発症と関連しています。このことから、禁煙の支援や受動喫煙の防止等のたばこ対策についての取組をさらに進め、健康で安全・安心・快適に生活できるまちをめざします。	<u>また、たばこは健康に悪影響を及ぼし、さまざまな疾患の発症と関連していることから、喫煙や受動喫煙による健康影響の予防や路上喫煙の防止に取り組みます。加えて、吸い殻のポイ捨てなどの対策を進めることで、健康で安全・安心・快適に生活できるまちをめざします。</u>